令和 7 年 6 月

各　位

いつもお世話になり、ありがとうございます。

令和 7 年度大阪市医学会 第 4 回鈴木衣子賞・第 71 回学会賞の募集要項ができましたので、お知らせ致します。

お手数ですが、ご通知のほどよろしくお願い致します。

ご不明な点等がございましたら、事務局までお問い合わせをお願い致します。

大阪市医学会
大阪公立大学大学院医学研究科 学舎 12F

FAX&内線 6645-3782：百々(ドド)

E-mail: gr-med-shiigakukai@omu.ac.jp

令和 7 年 6 月

各　位

鈴木衣子賞（会長賞）・学会賞選考委員会
委 員 長　三木　幸雄

令和 7 年度
大阪市医学会 第 4 回鈴木衣子賞・第 71 回学会賞 の募集について

令和 7 年度 大阪市医学会 鈴木衣子賞（第 4 回）・学会賞（第 71 回）の公募をします。貴教室・研究室・各機関に周知いただきますようお願い申し上げます。

記

● 鈴木衣子賞（会長賞）応募規定 ●

1. 対 象

大阪市立大学が大阪府立大学と統合して大阪公立大学になるのを記念して、これまで 67 回の歴史のある大阪市医学会会長賞を新たな賞として改訂しました。鈴木衣子先生は、昭和 34 年（1959 年）に大阪市立大学医学部を卒業され、米国 University of North Carolina at Chapel Hill の病理学・臨床検査学の主任教授を務められ、神経病理学の分野で長年にわたり国際的にご活躍され、その発展に大きく寄与されました。本賞は、鈴木衣子先生のお名前を頂き、本学の関係者で学内外に関わらず、国際的に評価される優れた業績を上げている若手医師、研究者を表彰します。

2. 応募期限：**令和 7 年 9 月 1 日（月）必着**

3. 提出書類：
- ◇**応募用紙**（フォーマットしたものがありますので、ご請求下さい）　**6 部**
- ◇**推薦書**（推薦者に条件はありません。書式はフォーマットしたものがありますので、ご請求下さい）　**6 部**
- ◇**代表的論文 3 報の別刷**　**各 6 部**
- ◇応募用紙、**推薦書、論文**（図・表含む PDF で保存したもの）の 3 点を入力した **USB**（返却致します）または**メールでのデータ送付**　**1 点**

4. 選考方法と受賞後の規定

1）選考委員会で代表的論文 3 報の業績を中心に応募書類を総合的に審査し、鈴木衣子賞（会長賞: 1 名）の受賞者を大阪市医学会理事会において決定します。
2）鈴木衣子賞（会長賞）と学会賞の 2 つに応募されても、受賞されるのは 1 つとします。
3）受賞者は、やむを得ない理由がない限り、授与式（令和 8 年 3 月 19 日予定）には出席することとします。

5. 応募資格

1）大阪市医学会会員歴が応募の時点で 4 年以上ある者、大阪市立大学あるいは大阪公立大学医学部卒業生、大阪市立大学あるいは大阪公立大学大学院医学研究科博士課程を修了した者。
2）令和 8 年 3 月 31 日時点で 50 歳未満である者。但し、本学大学院医学研究科の教授は対象外とする。
3）会長賞（市長賞）を既に受賞された筆頭著者は、選考対象としません。
4）受賞者は、受賞後に講演（Web セミナーも可）をしていただきます。

6. 副　賞：鈴木衣子賞（会長賞: 1 名）は賞金 100 万円が盾と共に授与されます。

7. 提出先：〒545-8585　大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
大阪市医学会事務局（大阪公立大学大学院医学研究科 学舎 12F）
TEL&FAX：06-6645-3782　E-mail：gr-med-shiigakukai@omu.ac.jp

● 学会賞 応募規定 ●

1. 対象論文
大阪市医学会雑誌、Osaka City Medical Journal、あるいはその他の学術雑誌に令和 5 年 10 月 1 日から令和 7 年 8 月 31 日までの間に掲載された論文に限ります。

2. 応募期限：**令和 7 年 9 月 1 日（月）必着**

3. 提出書類：
◇**応募用紙**（フォーマットしたものがありますので、ご請求下さい）　**1 点**
◇**論文別刷**　**6 部**
◇**800 字程度の内容抄録**（タイトル・全員の氏名・所属も記載）と
自己評価（貢献性・将来性等）　**6 部**
◇**応募用紙、論文別刷**（図・表含む PDF で保存したもの）、**内容抄録と自己評価**の 3 点を入力した **USB**（返却致します）または**メールでのデータ送付**　**1 点**

4. 選考方法と受賞後の規定
1）応募論文を選考委員会で審査し、3 グループの学会賞受賞者を大阪市医学会理事会において決定します。
2）鈴木衣子賞（会長賞）と学会賞の 2 つに応募されても、受賞されるのは 1 つとします。
3）部門は「基礎部門」「臨床部門」「公衆衛生・疫学部門（臨床疫学を含む）」に分れております。応募された論文の部門は、選考委員会で変更する場合があります。
4）受賞者は、やむを得ない理由がない限り、授与式（令和 8 年 3 月 19 日予定）には原則出席することとします。

5. 応募資格
1）応募論文の著者（筆頭著者、共著者全員）は、応募の時点で大阪市医学会会員であること。
2）会長賞（市長賞）を既に受賞された筆頭著者は、選考対象としません。また学会賞（筆頭著者のみ）の受賞は 3 回までとする。
3）研究内容が、大阪市医学会例会または大阪市役所医師会例会に報告されたもの（11 月例会発表予定を含む）。
4）大阪公立大学内の同一大学院講座からの応募は一件とし、所属長のサインはいりますが、学外はこの限りではありません。
5）「大阪市・市大・大阪公立大学医学部」関係の先生が「大阪市関連の所属機関」で研究したものに限ります。なお、大阪市役所医師会例会に発表していても大阪市医学会例会に発表していない受賞論文は授与式までに大阪市医学会例会で発表していただきます。大阪公立大学医学部所属の方につきましては、必ず例会発表後に応募していただくこととします。

6. 副　賞：学会賞（3 グループ）は賞金各 10 万円が賞状と共に授与されます。

7. 提出先：〒545-8585　大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
大阪市医学会事務局（大阪公立大学大学院医学研究科 学舎 12F）
TEL&FAX：06-6645-3782　E-mail：gr-med-shiigakukai@omu.ac.jp

応募についてのお問い合わせは、大阪市医学会事務局までお願い致します。

第 4 回（2025 年）
大阪市医学会　鈴木衣子賞（会長賞）　応募用紙

（ふりがな） 申請者・氏名		年齢（2025 年 9 月 1 日時点） 歳
生 年 月 日	年　　月　　日	
所 属 ・ 職 名		
所　在　地 **TEL ・ e-mail**	〒 **TEL：　　e-mail:**	
自 宅 住 所 **TEL**	〒 **TEL：**	
受賞対象研究題名 （５０字以内）		
略歴（大学卒から）		
代表的論文 3 報の IF を記載	1. 2. 3.	

推薦書	
推薦者	
所属・職	氏名 （自署）
応募者	
所属・職	氏名
推薦理由	

研究業績の要約（2,000 字以内）

研究業績リスト（英文で重要と思われるもののみ現在から遡って記載する。
本紙１枚とする。書ききれない場合は、その他として論文数を記載する。）

今後の研究計画（1,000 字以内）

受付番号

第　○○　回　大阪市医学会 学会賞 応募用紙（記載例）

選考希望部門 （第2希望まで記載で○印を入れて下さい）	第1希望	1　基礎部門	②　臨床部門	3	公衆衛生・疫学部門 （臨床疫学を含む）
	第2希望	1　基礎部門	2　臨床部門	③	公衆衛生・疫学部門 （臨床疫学を含む）
応募（代表）者	氏　名	フリガナ　大阪（オオサカ）　太郎（タロウ）			
	住　所	〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3			
		TEL　06-6645-××××			
	所　属	投稿時の所属（大阪市立大学大学院医学研究科××××科）			
		現在の所属（××××病院　内科）			
論文著者と共著者全員の氏名と所属（英語・日本語・フリガナ）（所属）	フリガナ 1.Taro Osaka（大阪　太郎　オオサカ　タロウ） (大阪市立大学　大学院医学研究科　××××学) 2.Hanako Osaka（大阪　花子　オオサカ　ハナコ） （大阪公立大学　大学院医学研究科　××××学） 3.××××（××××）				
大阪市医学会	発表年月日	令和○○年○月○○日　・　第○○○回			
	発表者氏名	大阪　太郎			
	発表演題名	発表時の演題記載（日本語と英語タイトル記載）			
論　文　演　題					
欧文の場合その題目の和訳					
発　表　雑　誌	掲載誌・発刊年　Circulation 2023;102:2302-2308. **雑誌名・ページは省略しないで記載のこと**				
所属長のサイン	**学内の応募の際は、所属長より応募了承のサインをいただいて下さい。学外はこの限りではありません。**				
備　考	令和○年度会員（　会員　・　未会員）**IF:** ○○○ **・申し込み時点で、筆頭著者・共著者全員が会員のこと。** **・わからない時は、お問い合わせ下さい。** **・インパクトファクターを記載。**				

抄録（800字程度）記載例

Localization of Oxidizes ・・・・・・ Disease
アルコール性脂肪肝 ・・・・・・の影響について
→ 英・和タイトル

大阪市立大学大学院医学研究科　××××学[1)]
××××大学薬学部　生物科学[2)]
××××病院　内科[3)]
大阪市立総合医療センター　××××科[6)]
大阪公立大学大学院医学研究科　××××学[7)]
→ 所　属

大阪太郎[1)]、大阪花子[1)]、×××[2)]、×××[6)]、×××[7)] → 氏　名

【目的】アルコール性脂肪性肝炎（NASH）/非アルコール性死亡性疾患（NAFLD）は・・・・・・・・・・役割を担っていると考えられている。本研究では・・・・・・・・における・・・を分析した。
【方法】・・・・剖検により・・・・・・・・・・反応分析によって定量的に・・・・した。
【結果】・・・は肝組織において・・・・・・な関連誌を認め・・・ことはできなかった。
【結論】本研究は・・・・・・・・・・・・・・・・・に関与して・・・・示唆された。
→ 800字程度

自己評価について

貢献性：　（記載）

将来性：　（記載）